

柳城



発行所
名古屋柳城短期大学
住所
名古屋市昭和区
明月町2-54
発行者
田浦武雄

情けは人のためならず

理事長 森 紀 旦



良く知られている格言、ことわざに、「情けは人のためならず」というのがある。皆さんはこの言葉の本当の意味をご存知であろうと思うが、中には誤解している人もある。「情けは人のためならず。情けをかけるとその人をかえって、だめにしてみよう」「あの人は今困ってとても苦しんでいる。かわいそうだ。でも今同情してあれこれ親切にしてあげたら、返ってあの人のためにならない。あの人が苦しさを克服して自分で立ち上がるまで待とう」。このような意味だとわたしも二十年前まで思っていた。

しかし、この言葉の真意はまったく別であった。「他人に情けはかけるものである。人のためにいろいろ同情し、共感し、思いやり、あれこれ助けてあげれば、将来まわりまわってわたしも情けをかけられるようになる。情けは人のためではない。この自分のためだ」ということである。つまり「他者にしてあげることは、結局は自分のためになるのだ」ということなのであった。

源氏物語の現代語訳を完了した瀬戸内寂聴さんがいつぞやテレビで、「源氏物語の登場人物は恋愛ばかりしている人間中心の人々に見えるかもしれないが、実はどの人物にも共通していることは、自分たち人間を超えた大いなる存在を意識していることだ。それに比べ、現代人は自分の力を過信した人間中心の生き方だ。自分たちを越えた大いなる存在に気づいていない」と言っておられた。

わたしたち人間を越えた存在者、私たちに命を与えこの世に誕生せしめた者、私たちの出てきた源、ふるさと、なつかしい存在、今私たちを支え生かし大切に思っている方。皆さんが学んでいる聖書はその存在を「真理」と呼んでいる。しかも「わたしは真理である」とイエス・キリストは語る。

イエスはどのように言う。「これらの小さい者の一人にしたのは実は私にしてくれたことなのだ」と。「これらの悩み苦しむ人弱い者小さい者にあなたが情けをかけたのは、助けてあげたのは、実は今あなたを限りなく大切に生かしているこの真理であるわたしにしてくれたことになるのだ」と。

保育も介護も、他者のために自分を用いることである。柳城を支えているキリスト教の教えではその生き方を「仕える生き方」と言う。保育や介護を通して子どもたちや人に仕えるとき、それはまわりまわって返ってくる。自分のために、いやそれ以上に何と、わたしたちに命を与えてこの世に生まれさせた真理という名の「方」にしてあげているのである。その方の名を「イエス」と言う。大いなるその方に本学にいる間に気づいていただきたい。



新年度始まる

二〇〇二年三月十六日、その門出を祝福するような春光の中を保育科、各専攻科合わせて二〇六名の卒業生が巣立っていました。また、二〇〇二年四月二日には入学式が執り行われました。暖冬の影響で例年のように満開の桜は見られませんでした、それが、それに負けないように枝ぶりもよくなった花木が白い可憐な花を咲かせて新入生を迎えてくれました。今年度は保育科二〇一名、専攻科においては、保育専攻九名、介護福祉専攻十六名の新入生を迎えることができました。昨年に引き続き、保育科、専攻科合わせて九名の男子学生が入学しました。まだまだ少数派ですが一人ひとりが個性を発揮して、新しい柳城カラーを作り上げていく原動力となることが期待されています。

また、四月二十六日、二十七日は三重県志摩郡、合歓の郷で恒例の保育科合同ゼミナールが行われました。本学理事の水山進吾先生の講演や越智章仁氏によるピアノコンサート、そしてキャンプファイアー、新入生歓迎会など盛りだくさんのプログラムでしたが学生はそれぞれの持つ力を存分に発揮し、数多くの有意義な体験をしました。

「介護専攻で一年学んで」

鳥毛 彰乃

私は保育科を卒業して、一年間幼稚園に勤め、仕事を辞めて新たに介護福祉専攻科への入学を決意しました。

仕事をして理想と現実とのギャップに悩み本当にこれでいいのかと考えた時、もう一度自分自身を見直したいと思い、再びこの柳城に帰ってきました。この一年介護福祉専攻で学び、

本当に良かったと心の底より思います。自分の母のような年の友達もいれば、保育科から来た若い仲間もいて、それぞれ様々な想いを抱えた介護の生徒たちの中で学ぶことは本当に大きかったです。介護というものはもちろんのこと、介護というものを通して人間関係、人が生きていくという事について言葉では語ることの出来ない「想い」を心と体で体験することが出来ました。



実習では様々な壁にぶち当たりました。友達関係、先生との関係の中でも色々悩むことがありました。皆でとことん話し、悩み、考え、時には泣いたりもしました。しかし、悩み壁にぶつかってからこそ前進できたのだと思います。ここで得た学びと友情は宝です。今は、納得し

て入った保育園で、とても充実した日々を送っています。今日に至るまで、私を支えて下さった、先生方、友達に今感謝の気持ちで一杯です。

「柳城に入学して」

保育科一年 成田めぐみ

入学式から、すでに一ヶ月が過ぎ、学校生活にもだいぶ慣れました。一日一日がとても早く過ぎていくので、二年間はどんなに早く過ぎるのかと不安に感じています。大学での生活は今のまでの学生生活とは違い、自己責任というものがあり、義務的なことは一つもありません。そのせいか、今までの先生方と比べると、大学の先生方はとてもシビアに感じました。でも、この大学の先生方は生徒に対して情熱的な先生ばかりで生徒として心強く感じ、柳城の誇りを持っている先生ばかりだと思いました。

すでに講義も始まっています。が、課題やピアノなど手一杯で、今は自分のペースがつかめていません。全ての授業がこれからの一歩につながっていると思う



と、一つも気が抜けませんし、それが自分自身への励みにもつながります。柳城短大はキリスト教精神の学校なので人としてのことも学べ、保育者としてとても必要なことばかりで、自分自身をみつめ直すことができます。

先日、学外ゼミナールに参加しました。初めて二年生や先生方と密接に触れ合うことができた。キャンプファイアーの盛り上がり方は、すごかったです。が保育の学校らしいと感じました。また、公演、テーマ「ピアノを友として」で、越智章仁さんのピアノ演奏はとても素晴らしく聞きほれました。この二日間はとても楽しかったし、柳城生としての実感もできました。卒業までに柳城の伝統を身に付け、人としても大きく成長していきたいと思っています。



特集★図書館

―利用しやすい図書館をめざして―

現在の図書館が、一九九一（平成三）年度に新築された校舎（二号館二階）に場所を移し、オープンしてから十年を数えたことになりました。

二十数年ぶりに母校を訪れたという卒業生の方の、「夢のようですね」という言葉は印象深いものでした。「学生のために良い図書館を」という諸先輩方の熱意とご尽力のうえに今の図書館が成っていることを実感します。

現在の蔵書数は、四万五千冊に達しています。キリスト教、保育、福祉の分野を中心として、専門図書から絵本、紙芝居の児童書まで、特色ある蔵書となっています。

設備やサービスも整えられました。システムの導入、視聴覚室と書庫の新設、開館時間の延長やインターネット接続など、ハードソフトの両面にわたり、学習や研究を支えるための機能を果たすべく、充実が図られています。

そこで、最近数年間の動きと新しいサービスを紹介させていただきます。と思います。

最近のニュースから

●卒業生も利用できます

図書を五冊以内、二週間以内、卒業生も貸出できます。

利用者として登録するため、初回は身分証明書（免許証等）をお持ちください。卒業年度をお知らせいただければ、利用カードを即日発行し、その日から貸出もできます。

●夜八時まで開館



午後八時まで開館しており、一層利用しやすくなりました。（ただし春・夏・冬休みは、午後五時まで）

●視聴覚室

視聴覚室は一九九八（平成十）年度に新設されました。四台の専用ブースではビデオを視聴できます。昼休みや休講時などは、映画を鑑賞する学生で賑わっています。

●貸出手続や検索が簡単

一九九九（平成十一）年度までの三年間にシステムが導入されました。貸出手続はバーコード処理のため簡単になり、検索用の端末により書名やキーワードから図書を探せます。

●インターネットの利用

一九九九（平成十一）年度に情報検索コーナーが新設されました。インターネットに接続し最新の情報にアクセスすることができます。

●他大学とのネットワーク

二〇〇一（平成十三）年度より、他大学の図書館と資料を相互に貸借できるシステムが導入されました。本学に所蔵していない文献も、他大学から取り寄

せて提供しています。

●専門書の充実

保育や福祉の分野を中心とする専門資料は貴重なコレクションとなっています。学外研究者からも利用されるようになり、その充実ぶりを評価されています。

●貸出数は年々増加

二〇〇一（平成十三）年度における、本学学生一人当たりの貸出冊数は十八・六冊でした。これは、短大全国平均四・八冊（日本図書館協会）の約四倍にあたり、活発に利用されていることがわかります。

館外貸出数の推移



変わらない伝統

書棚には、長い年月をかけて収集された貴重な図書が収められており、本学の伝統と歴史を伝える風格を残しています。

広々とした閲覧室には、ゆったりと過ごす学生の姿があります。時おり紙芝居の読み合せをする声が聞こえるのも柳城ならではのことでしょうか。多くの学生にとって、図書館が居心地の良い空間であることを願います。これからも充実が図られていくと思います。（司書 種市）

歴史資料室便り

時がれた種

宮木家との出会いを通して

瑞穂幼稚園は、二〇〇二年三月三十一日付けをもって、七四年の働きを休園という形でひとまず閉じることになりました。

当園は、一九二八（昭和三）年に、カナダ聖公会より派遣された宣教師ミス・クックが土地・建物を寄贈し、名古屋聖ステパノ教会および幼稚園として設置されたのが始まりです。この間、歴代の園長、教職員の方々のこつた教育に支えられ多くの卒園生を輩出してきました。

三月二一日には、最後の卒園生十一人（転園一人を含む）を囲み、保護者・来賓・大学関係者・他の附属幼稚園の先生方・卒園生などが見守るなか、夏目園長・吉川（旧・位田）先生・上田（旧・花之内）先生・山本（旧・岡田）先生によって卒園式および感謝式が執り行われました。

式のなかで、これまでの卒園生（小学生）が、先生方に花束を渡すひとこまがありました。



卒園生の帰る場が無くなることは、卒園生のみならず関係者にとつて、大変残念でありまた、このような形で閉じることになった経緯を深く受けとめ、今後前向きに生かしていくにはどうすれば良いか、全教職員が考えていかなければならないと痛感しました。

このようななか、歴史資料委員会として、瑞穂幼稚園の一人の卒園生である宮木麻由子ちゃんを通して思わぬ出会いと本学の教育を省みる機会を与えられました。

麻由子ちゃんは、二〇〇〇年度瑞穂幼稚園卒園の現在小学三年生。おちやめで素敵な女の子です。

です。麻由子ちゃんの卒園式に列席されたお祖母様（以下、靖子様）は、実は本学附属御器所幼稚園の卒園生。

また、在園中より園の教育に大変ご理解のあった麻由子ちゃんのお母様（宮木寿子様）は、麻由子ちゃんの卒園と入れ替りに、絵本の読み聞かせボランティアをしてくださるようになりました。そして、靖子様から夏目園長に、お孫さんの卒園に際しての感謝のことばとともに御一家と本学とのかわりについで書かれたお手紙が手渡されました。

歴史資料委員会では、お手紙を拝見し、かわりの深さに驚き、靖子様・寿子様・麻由子ちゃんの三人に来て頂き、歴史資料室でお話を伺うことになりました。以下は、お話をまとめたものです。

◇三代にわたり十八人のご卒園!!

宮木家は、靖子様の兄弟・姉妹方五人が御器所幼稚園、ご主人の妹さん三人が柳城幼稚園、靖子様のお子さん三人と次男の



お子さん四人（そのうち一人が麻由子ちゃん）が幼児研究所と瑞穂幼稚園、靖子様のお姉さんのお子さん一人が御器所幼稚園、弟さんのお子さん一人が幼児研究所、総勢十八人が本学の附属幼稚園をご卒園になっています。

Q: どうして、靖子様のお母様は柳城をお選びになったのでしょうか？

靖子様: 母がクリスチャンで東京から引越してきて、キリスト教の幼稚園を捜したのだと思います。

主人の方は、妹三人と姪が入園しました。主人の母は、熱心な仏教の信者でしたがボーマン先生や松原先生に家庭訪問をして頂いたり、母の会だけでなく、いろいろな学ぶ機会があり、大きな影響を受けたようです。

Q: 寿子様（麻由子ちゃんのお

母様）はどのようにして幼稚園を選ばれましたか？

寿子様: 義母さん（靖子様）が当然のように願書をもらってきてくれました。（笑）

Q: 嫁・姑の問題は、なかったんですね！（笑）

寿子様: はい。そして、実際に見学に行かせて頂いたとき、在園のお母さん方が、子どもを預かってくださったのでゆつくり見ることができ、とても良い雰囲気だと思いました。応接室などが解放されており、立ち話でなく、いつでもお母さんたちが話し合うことができる環境でした。少人数ということも良かったです。

◇高嶺先生のこと

昔の写真を見ながらお話を伺っていると、「これは私の頃の写真です。」「これは、おとなりの〇〇ちゃん!」「これは、〇〇先生! なつかしいこと!」そして、「あ! これは私の父です!」とおことばに、テーブルを囲んだ面々は一瞬沈黙。

「失礼ですが柳城にご尽力くださった、あの高嶺昇先生です

か？」と夏目先生。

やはり、そうでした！生物学の権威であり、本学と深いかわりの高嶺昇先生（注）が靖子様のお父様だったのです！お子様を五人も本学附属園に入園させられたこともあり、柳城と柳城の学生たちをこよなく愛してくださいました。本学に、沢山の標本・顕微鏡をご寄付頂いたそうです。

また、高嶺先生のこんなエピソードを伺いました。お子様の風揚げ遊びのとき、御器所の八幡山に家が近いこともあって、子どもたちを助けに来てくださいました。ところが、子どもたちは帰って来たのになかなか先生は帰られません。「お父様は？」と聞くと「お父さんは、まだやってるよ」とのこと。その、先生の口癖は、「大学の先生が偉いのではない。幼稚園の先生が一番偉い！」だったそうです。

◇絵本やお話大好き！ の麻由子ちゃん

Q：好きな本は？
今、一番好きなのはハリー

ポッター・シリーズ（夢中で全部読みました）

二番目は、クリスマスやサンタクロースのお話、三番目が、『地雷ではなく花をください』四番目が「わすれられない おくりもの」

Q：絵本が好きになったのはどうして？

お母さんが沢山読んでくれたから。お姉ちゃんも大好きだから私も大好きになったの。

Q：園生活の思い出は？

いろいろ楽しかったけど、プール遊びが大好き。運動会や焼き芋をしたこと、クリスマスも。休園になったら、遊びにいけないし、夕涼み会の卒園生参加も出来ないから淋しいな。

◇靖子様の一歩 うれしかったこと！

一昨年、ご主人が洗礼を受けたこと。お義母様は、亡くなる前、息子さんが必ず洗礼を受けることを予言されていたそうです。結婚してからも、一度も靖子さんから教会に行くことを勧めたことがなかったそうです。けれども、教会に通われる

ようになり洗礼を受けられたことが何にもまして、驚きであり喜びだということです。小さいとき、お母様を通して、ポーランド先生・ホーキンス先生・柳城の多くの先生たちの祈りとお働きがこのような形で何十年もたつて実が結んだことを心から感謝していました。

「やっぱり神さまは生きて働かれておられるんですね」というお言葉が印象的でした。

（注）高嶺昇先生は、大正三年東京帝国大学（東京大）を卒業。昭和十七年名古屋帝国大学（名古屋大）教授、愛知学芸大学（愛知教育大）学長など歴任。本学の理事としても貢献されました。



右端ホーキンス先生、左から二番目高嶺先生、前二人は靖子様のお子様（昭和28年5月）

柳城幼稚園便り

園長 先田 泰子

ボタンの花が七重八重に咲き揃い初夏のいろどりをそえ、日増しに元気のいい声が風に吹かれてあちこちから聞こえ、四月当初の緊張感もほぐれてきているこの頃です。

今年は年少二四名、年中二十名、年長二二名、職員六名でスタートしました。預かり保育も時代のニーズに合わせ今年で三年目を迎えます。又、子育て支援を受け、親子教室、親の心のケアなど、母親にも学んでもらう場を提供し、地域に根ざした園になるよう保護者を中心に少しずつ動き出しています。又、何より心強いのは、隣接している聖マルコ教会に一宮聖光幼稚園で長年園長をなさっていた渋谷司祭様が赴任されたことです。子どもたちに聖話の時間を持つていただき誕生会など諸行事にかかわっていただき保護者向きのお話もお願いできると期待しています。

保護者から年長児には茶の道



を伝えたいとの申出があり、元氣一杯の子どもたちが、お作法にどう取り組むか楽しみにしています。「この幼稚園が好き」といつてくださる方々に支えられ、神様のお恵みを受けて、今年も一人ひとりの子供たちを大切に育み、心に残る保育をしていきたいと職員一同、初心に返り、更に努力を重ねていく所存であります。



豊田幼稚園便り

園長 関 俊子

例年になく早かった春の訪れに園庭の花々は始業式、入園式が待ち切れませんでした。自然界が異変をきたし子ども達の将来を思うと心が痛みました。そのような思いで迎えた新学期ですが、私の心配をよそに、子ども達は新しい環境にも慣れ、緑に包まれた園庭で明るい陽射し心地よい風を受け、それぞれに遊びを楽しむ姿が見られるようになりました。

二〇〇二年度は、園児数一四名、九クラス、教職員は十四名でスタートしました。学校完全五日制も導入し、預かり保育も本格的に実施することになりました。毎日三〜五名の希望者があります。又、子育て支援活動の一つとして、地域の未就園の子どもと母親を対象としたクラスも始めたいと計画しています。

大きく変わりつつある日本の教育界です。幼稚園もいろいろと求められています。キリス

ト教保育を柱として、新しい時代にふさわしいよりよい保育を目指してまいりたいと思っています。

豊田幼稚園は今、地域に就園する子どもが少なくなってきたために今後の園児確保をどのようにしていくかが大きな課題となつてきています。

一人でも多くの子どもがキリスト教保育に出会ってほしいと願つてやみません。



三好丘聖マーガレット幼稚園便り

園長 小松 伯子

二〇〇〇年四月に開園した本園ですが、今年三月始めての第一回生二九名を送り出す事がで

きた事は大きな喜びです。

本年は三歳児七三名、四歳児二名を迎え総勢二〇五名の大世帯となりました。大人数ではありますが、担任が一人ひとりとかかわり、お祈りを通して全体が一つであるように配慮して参りたいと思っています。

この出会いを通して子どもや保護者の方々と見えない糸でつながっていくように、そしてやがて実を結ぶ日が来る事を信じて、まだ礎の部分の固めております。

昨年に引き続いて土井チャブレンにより、聖書を通して保護者との交わりの会を持ち、今年には土井チャブレンの他に大韓聖公会から派遣され、名古屋聖マタイ教会で副牧師をしてもらえるチョン司祭も来てくださる予定で、いつそう楽しい会が持てそうです。

園内研修では、昨年の絵本の読み聞かせの中をいっそう広め、「イメージを広げ造形活動につなげていくにはどのようにすればよいか」というテーマで、短大の奥美佐子先生のご指導を受けます。学校五日制が導入され、

私立幼稚園には新たな課題が見えかくれる昨今ですが、何がベストなのかよく見極めて進めてまいりたいと思います。

お母さんとの別れが悲しかった三歳児も日、一日と笑顔に変わっていく様子に、成長の早さを感じています。



来年は、短大創立50周年を迎えます!!

ぜひお覚え下さい。

記念礼拝 2003年11月1日(土)

詳細は、来年度「学報」にてお知らせします。

二〇〇二年主要行事予定

11 / 1 (金)	10 / 2 (水)	24 (火)	9 / 16 (月)	4 (日)	8 / 1 (木)	25 (木)	30 (火)	23 (火)	23 (火)	22 (月)	13 (土)	7 / 11 (木)	6 / 24 (月)	5 / 20 (月)	4 / 2 (火)
創立記念礼拝	創立記念日	後期講義開始	(第2段階・介護福祉専攻)	施設介護実習	(保育科2年生)	施設実習	(保育科1年生)	教育実習(夏季保育)	学校見学会	夏季休暇開始	※『復刻世界の絵本展』	前期定期試験開始	前期講義終了	補講日	23 (火)・24 (水)
※『ハンセン病に 関するパネル展』	専攻科第1次入試	前期講義終了	補講日	23 (火)・24 (水)	22 (月)	13 (土)	7 / 11 (木)	6 / 24 (月)	5 / 20 (月)	4 / 2 (火)	4 (木)	26 (金)・27 (土)	合同ゼミナール(保育科)	幼稚園実習	健康診断
保育所実習	(保育科2年生)	施設介護実習	(第1段階・介護福祉専攻)	施設実習	(保育科2年生)	施設実習	(保育科1年生)	教育実習(夏季保育)	学校見学会	夏季休暇開始	※『復刻世界の絵本展』	前期定期試験開始	前期講義終了	補講日	23 (火)・24 (水)

新任教職員紹介

荻原 はるみ



はじめまして、二〇〇二年四月より専任講師として赴任した荻原はるみです。担当教科は保育科の保育臨床心理学、保育専攻の障害児保育研究、介護福祉専攻の老人・障害者の心理等です。すべての科の講義を担当するということは、学生の皆さんとの出会いがそれだけ広がり、柳城短期大学一年生の私にとってはうれしい限りです。私はこの三月まで豊田市こども発達センターに勤務しておりました。臨床現場では自閉症をはじめ注意欠陥多動性障害・知的障害の子どもたちやその保護者の方々の多くの出会いの中でいろいろなことを学ばせていただきました。

した。障害児と聞くと特別な響きを受けるかもしれませんが、今や全児童の四〇五％、すなわち一クラスに一〇二人は何らかの特別な援助を必要とする子どもたちがいるといわれています。障害児を知らないでは専門家とはいえない時代はもうここまできています。臨床現場での経験を生かし、子どもたちの発達のすばらしさをお伝えしてゆきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

三好 禎之



はじめまして、二〇〇二年四月より、名古屋柳城短期大学専攻介護福祉専攻に赴任してまいりました三好禎之です。担当

科目は、介護概論、介護技術、形態別介護技術、実習指導などを担当しています。

出身は愛媛県宇和島市という海と山に囲まれた人口六万人ほどの小さな町です。温暖な気候を利用して真珠やハマチの養殖、みかん栽培等が盛んで、時間がゆつくりと流れる自然豊かな土地で育ちました。ふるさとを離れて名古屋に移り住み十三年が経過し、その間介護福祉士を養成する専門学校や、夜間制の大学に通い社会福祉について学びました。

研究の対象領域は、老人介護ならびに施設介護サービスです。私が老人介護に関心を抱く体験としては、施設を生活の基盤として暮らす人々とふれあい、語る言葉に感動する中で、その人らしく生きる生活とは何かを考えさせられたことです。

少子・高齢社会の中、人々が安心して暮らしていける生活を創造するためには、今どんな福祉サービスが必要であり、求められているのか。名古屋柳城短期大学の学生の皆さんと共に実態をしっかりと見つめ考えて行

きたいと思っています。どうか宜しくお願い致します。

原田 信也



四月より名古屋柳城短期大学総務課で勤務させていただいております原田信也です。私自身、高校・大学とキリスト教主義学校で学び、自分自身の人間形成の上で大変良い環境で学び育まれてきました。今度は、働く立場で使命感を持ってその一端を担わせていただきたいと思います。

当大学に勤務して、清々しい「挨拶」が印象的です。人との触れ合いを大切に「奉仕の精神」をもって精一杯仕事に励んでまいりますのでよろしく願います。



1 (金) 12 / 26 (木)
※『世界のクリスマス展』

2 (土) 3 (日)

※『柳城祭』

11 (月) 幼稚園実習

(保育科1年生)

16 (土) 17 (日)

保育科推薦入試

25 (月)

施設介護実習

(第3段階・介護福祉専攻)

12 / 18 (水)

クリスマス礼拝

21 (土)

冬季休暇開始

1 / 8 (水)

保育科・保育専攻講義開始

後期定期試験開始

(介護福祉専攻)

14 (火)

居宅介護実習

(介護福祉専攻)

27 (月)

保育科・保育専攻講義終了

28 (火)

後期定期試験開始

(保育科・保育専攻)

2 / 1 (土) 2 (日)

保育科一般入試

15 (土)

専攻科第2次入試

24 (月)

保育所実習

(保育科1年生)

3 / 13 (木)

終業・卒業礼拝

新2年生履修ガイダンス

14 (金)

卒業式・修了式

※三つの展示会・柳城祭にどうぞお出かけください。

クラブ紹介「ハンドベルクワイア」

高嶽 智子 牧山 浩子

ハンドベルクワイア（ハンドベルクラブ）は、柳城の中でも伝統のある部活動です。ハンドベルは一つのベルで一つの音を奏でることが出来ます。高い音の小さなベルから低い音の大きなベルまで、大学には、約三オクターブ分あります。そのベルを手に持ち、手首と肘をうまく使い、音をだします。振り方によって音を伸ばす、細かく振る（シャッフル）、はじく（ピチカート）、音量を加減するなどがあります。

昨年度、学内では創立記念礼拝、柳城祭、クリスマス礼拝などの行事で演奏しました。学外では、JR名古屋セントラルタワーズや、小牧ジャスコなどのクリスマスイベントで演奏しました。大勢の人の前で演奏するのは、練習とはまた違った緊張感を味わいます。

ハンドベルを演奏するまでの行程は、まずその行事に合った曲を選びます。曲が決まると音割りをします。音割りとは、一

人が一度に三音以上、振ることがないように、誰がどの音を持つのかを組み合わせています。自分が持つ音が決まったら個人練習をし、メトロノームを用いて速度を合わせ、徐々に皆で合わせていきます。こうして、一つの曲が作り上げられていきます。一音一音が大切なので、全員揃って始めて一つの曲になります。曲が完成するまでに時間がかかり大変ですが、全員で力を合わせて一つの曲が出来上がったときの喜びは、ひとしおです。私達は仲間と共に曲を作り上げる喜びを得ることの出来る、ハンドベルと出合い本当に良かったと思っています。又、幼稚園や保育園で子ども用のハンドベル（ミュージックベル）を使って生活発表会などで演奏している所もあります。

在校生の皆さんも、是非ハンドベルの美しい音色を味わい、仲間と共に曲を作り上げる喜びを得ることの出来るベルに実際に触れてみませんか。



JR名古屋セントラルタワーズでの演奏

専任教員の論文紹介

二〇〇一年度研究紀要より

歴史観と日本人の思考様式
田浦 武雄
シューベルトの歌曲集「冬の旅」
(4)―歌手とピアノリストの演奏と解釈―
野々垣文成

現代青年の人間関係について
成田 朋子

子ども像に関する一考察
―《良い・悪い》をめぐって―
尾上 明子

現代美術と幼児の造形における模倣のスタンス
奥 美佐子

「教育的関係」再考Ⅱ
―J・ラカンの理論を中心に―
齋藤久美子

音楽表現と保育実践
―実習を通して―
長根利紀代

四歳女児における身体活動と運動能力に関する研究
―ライフコーダを用いた身体活動量の測定評価から―
鈴木 裕子

介護福祉士養成教育における学生の「研究」のありかた―養成施設への質問紙調査および学生への面接を通して―
中根 淳子
伊藤 浩子

訪問看護と利用者の現状
―訪問看護実践を通して―
飯盛 茂子

保育者養成短期大学における情報教育カリキュラム(2)
松山由美子
今井 亜湖

葛飾区「しあわせサービス」における介護技術講習のあり方について
柴野 正勝

キリスト教倫理の源泉についての一考察
―マルコによる福音書の協役を通して―
菅原 裕治

保育科学生の保育者観の形成(続報)
岩井 勇児

音楽療法―グループセッションを通して見えてきたこと
飯田 昌子
安藤 和也

二〇〇二年度

保護者会役員

本年度は次の方に任を負って頂くことになりました。よろしく願います。

会長 宇佐美豊子
副会長 福丸 清美
会計監査委員 稲葉 照与
会計監査委員 岡戸 妙子
神野 清美
西田 京子
磯部美佐子
平子 明美
中村みゆき
吉村 春子
大久保雅子
東 ちなみ
佐藤 恵子
伊藤 敦子
清水 昌江
福入 秀子

今年の就職状況

全員希望どおりに

二〇〇一年度は、保育科一八二名、専攻科保育専攻二名、専攻科介護福祉専攻十七名、合計二〇六名の学生が卒業しました。そのうち一八〇名の学生が就職を希望し、十八名の学生が本学の保育専攻、介護福祉専攻への進学を選びました。

就職活動はたいへん順調に進み、十二月末で一七六名（九八％）の就職が決定し、あと四名の学生も、年が明けてすぐ自分の希望に添った園や施設を受験し、内定をいただきました。そして、一昨年・昨年に続き本年度も、早々と、就職率一〇〇％を達成することができました。

もう一つ特筆すべきは、一八〇名の就職希望者のうち一七九名の学生が、大学で学んだ専門を生かして、幼稚園、保育園、児童施設、老人施設へ就職したことです。本学の持つ伝統と、一人ひとりの学生のまじめながんばりによるものであり、大きな特色と言えます。

就職支援も充実

本年度から就職オリエンテーションの時間を一年生の後期と二年生の前期に週一回ずつ設定し、進路選択や就職試験に対応できるような指導を行ってきました。また同時に、就職資料室の整備にも力を注ぎ、就職活動に役立つ参考文献や手作り資料等を充実させています。数年前から求人先の開拓にも努力してきた結果、二〇〇一年度は幼稚園、保育園、児童及び老人施設から五六〇を超える求人票が届きました。これは五年まえの求人票の二・八倍にもなります。こうした就職支援のもとで、学生はかなり有利に就職活動を展開することができました。



進路状況内訳 (2002年3月卒)

(数値 人数)

科	保育科	保育専攻	介護専攻	合計	科	保育科	保育専攻	介護専攻	合計
卒業者数	182	2	17	206	老施設就職者数			5	5
就職希望者	163	2	15	180	公立臨時保育士	3	1		4
私立幼就職者数	87		2	89	一般企業事務職	1			1
私立保就職者数	52		7	59	進学者数	18			18
公立就職者数	18	1	1	20	その他	6		2	8
児施設就職者数	2			2	就職率	100%			

入試状況

本学の建学精神に基づいて、健康で明朗快活かつ将来、保育者、幼児教育及び介護を志す意思と熱意のある学生を選抜する目的で保育科・専攻科（保育専攻・介護福祉専攻）の入学試験を実施しております。

保育科では推薦・一般（社会人含む）合わせて受験者は三八名で昨年より二十名減でこの要因は他大学と入試日程が重なったことが考えられます。入学者は二〇一名となりました。今年度は社会人が三名、男子学生六名の入学が大きな特徴として上げられます。

専攻科入試は二回実施され、保育専攻の志願者は九名で全員入学しました。介護福祉専攻は志願者二十名で入学者十六名の結果となりました。

全国的に保育系学科は資格イコール就職、職場の環境変化に伴って志望学生は安定すると予想される中で本学では①入試に関する各種情報公開②就職状況公開を積極的に提供していきます。

二〇〇三年度学生募集要項

二〇〇三年度 保育科・専攻科（保育専攻・介護福祉専攻）の入学試験を左記の要領にて実施いたします

募集学科―保育科
募集定員―一五〇名

○推薦入学試験
出願受付期間
十一月一日～十一月十一日
推薦入学試験日
十一月十六日・十七日

○一般入学試験
出願受付期間
一月十六日～一月二十四日
一般入学試験日
二月一日・二日

募集専攻―保育専攻 十五名
介護福祉専攻三十名

○第一次入学試験
出願受付期間
六月二十四日～七月八日
試験日
七月十三日

○第二次入学試験
出願受付期間
一月三十一日～二月七日
試験日
二月十五日

募集要項請求及び入学試験等の問い合わせは教務課まで。

☎ 052・841・2635

2001年度会計報告

消費収支計算書

2001年4月1日～2002年3月31日

単位：千円

	科 目	予 算	決 算	差 異
消費収入の部	学生・生徒等納付金	571,712	572,042	330
	手数料	12,344	12,368	24
	寄付金	9,845	10,377	532
	補助金	128,023	128,052	29
	資産運用収入	1,064	1,229	165
	事業収入	30,753	37,045	6,292
	雑収入	17,194	17,219	25
	[帰属収入合計]	[770,935]	[778,332]	[7,397]
	基本金組入額	32,244	18,437	△13,807
	[消費収入合計]	738,691	759,895	21,204
消費支出の部	人件費	413,201	408,876	△4,325
	教育研究経費	220,958	204,966	△15,992
	(内減価償却額)	(65,750)	(61,981)	(△3,769)
	管理経費	36,056	29,228	△6,828
	借入金利息	15,001	14,776	△225
	資産処分差額	1,117	110	△1,007
	予備費	12,851	0	△12,851
	[消費支出合計]	699,184	657,956	△41,228
	当年度消費収支差額	39,507	101,939	62,432
	前年度繰越消費収支超過額	1,046,183	1,046,183	—
	翌年度繰越消費収支超過額	1,006,676	944,244	—

・本学は、保育者教育センターに103年の伝統を誇る大学ですが、規模的には小さくかつ、実践的な少人数教育という教育的特徴を有しているため、比較的に蓄積に乏しく財務体質はひ弱な状況といわざるを得ません。

昨今、短期大学は少子化の奔流の中でその生き残りを問われており、本学が社会の動向に的確に対応しつつ「優良な保育者を養成する」という社会的使命を全うしていくためには、財務の健全化は極めて大きな課題と考えております。

・2001年度決算の概要は左表の通りです。

1) 今期の消費収支差額は102百万円の消費収入超過(黒字)となりました。増収の主な要因は、学生・園児数の増加によるものです。短期大学の学生が417名、附属幼稚園の園児数が410名と、それぞれ過去最高の学生・園児数を確保することが出来ましたが、これは当学院の教育への信頼度が高い結果と考えます。

2) 支出面では、人件費・管理経費共に削減に努め、教育経費の増加をカバーしてなお18百万円、対前年比で減少させることが出来ました。これはひとえに全教職員一致の努力の成果と深く感謝しているところです。

3) しかし尚、本学院の財務状況は上述の通り健全な状況にはありません。前年度までの繰越消費収支超過額は1,046百万円にて、本年度の消費収支超過額102百万円を加えてもなお944百万円の繰越消費支出超過額が残ります。改善に向け更に努力が必要と考えております。(事務局長・理事 塚田 一宣)

人事

短大

就任(2002年4月1日)

萩原はるみ(講師)

三好 禎之(講師)

原田 信也(総務課経理)

宮嶋 英一(特任就職課長)

昇任(2001年10月1日)

奥 美佐子(教授)

尾上 明子(教授)

昇任(2002年4月1日)

鈴木 裕子(助教授)

中根 淳子(助教授)

西 弘美(総務課係長)

藤田 憲哉(教務課主任)

矢澤 基至(教務課主任)

退任(2002年3月31日)

柴野 正勝(講師)

水山 進吾(特任教授)

野々垣嘉男(特任教授)

宮嶋 英一(就職課長)

附属幼稚園

就任(2001年9月1日)

後藤 一郎(司祭)

就任(2002年4月1日)

渋澤 一郎(司祭)

小川友紀恵(柳城幼稚園)

相羽真美子(豊田幼稚園)

野々山実奈(三好丘聖マコ)

内海 直美(三好丘聖マコ)

小野田陽子(三好丘聖マコ)

昇任(2002年4月1日)

立松かおり(柳城幼稚園)

異動(2002年4月1日)

林 ひとみ(三好丘聖マコ)

退任(2001年8月31日)

大和田康司(執事)

退任(2002年3月31日)

野村 潔(司祭)

退任(2002年3月31日)

宮川 雅子(柳城幼稚園)

吉川 朋美(旧姓位田)

上田 直恵(旧姓花之内)

南 加奈栄(三好丘聖マコ)

編集後記

思いがけない「出会い」は、人生を豊かにしたり、時に人生まで変えてしまうことさえあります。「出会い」は、それほど不思議に満ちています。第47号「学報」を通して、柳城に繋がるお一人おひとりと出会い、喜びを共にすることが出来ますように。(歴史資料委員会)